



震度分布図

河内大和強震概報（中央気象台：昭和11年2月25日刊）による実地調査報告（和達春夫、竹花峰夫）による概要

大阪府と奈良県の県境で発生し山裾、平野部の所々で強く揺れた。地震の強度は平地と山地で異なり、比較は難しいが平地の方が揺れやすい。従って山地では土塀、蔵の破壊が多く、平野では弱い家屋の損傷が多い。前年の7月11日に静岡で起きた地震とよく似ているが、今回の地震の方が山地が広いので揺れが小さくなった。揺れは強かったが今回の地震は所謂大地震ではなく、建付けが悪い建物が被害を受けた。

■地震の諸元(気象庁カタログによる)
 発生年月日 昭和11（1936）年2月21日
 震央 奈良県
 マグニチュード 6.4
 深さ 18km
 北緯 34度31分 東経 135度41分

■被害（大阪府での被害）
 死者 8人
 負傷者 52人
 家屋全壊 4棟
 山地に小さながけ崩れ
大阪府地域防災計画による

全体※
 死者 9人
 負傷者 59人
 家屋全壊 不明

日本被害地震総覧・河内大和強震概報による



大和川沿いの
柏原～道明寺間の
奈良街道

写真は河内大和強震概報 中央気象台
昭和11年2月25日刊



柏原町小川沿いの土蔵の破損